

## 富山国際大学国際教養学部 教員研究業績一覧

2000年1月1日～2004年12月31日

### 凡例

一覧は各教員の自己申告にもとづき国際教養学部図書館委員会の紀要編集委員会で作成した。

「論文」は単行本・学術雑誌掲載の論文・研究ノート・報告などのほか、書店で販売する一般雑誌に掲載された専門性の高い論文および新聞に掲載された専門性の高い署名原稿を対象にした。

「著書」には単著・共著・編著・共編著・翻訳の区別を明記した。

「学会発表」は、学会はもちろん、学会と称していなくても実質が学会と同等の機関における研究発表を対象にした。

「その他」は、学術活動に対する表彰、国・自治体・公共機関における専門性の高い審議会・調査会等の委員、および学術上、特筆されるべき活動を対象にした。

### 安達哲夫

論文 「景気の現況 日本経済の明と暗」(富山国際大学人文社会学部、『10周年記念 エコノミスト・ジャーナリスト講演記録』、2001年3月)

「「キャリア形成」の視点から見る授業改善の方向 - 「コミュニケーション能力」と「問題解決思考力」の育成を目指して - 」(平成15年度 (財)富山第一銀行奨学財団助成金報告書 『授業改善に向けての取り組みに関する調査研究』(富山国際大学国際教養学部、2004年4月))

### 李 順愛

論文 「金子文子・社会と向き合うということ」(『韓国・朝鮮と向き合った36人の日本人』 明石書店 2002年)

著書 『二世の起源と「戦後思想」』(単著 平凡社、2000年)

『女性学事典』(項目執筆 岩波書店、2002年)

『岩波小辞典現代韓国・朝鮮』(項目執筆 岩波書店、2002年)

白楽晴 『朝鮮半島統一論』(翻訳 図書出版クレイン、2001年)

### 大川公一

論文 「富山県知事選挙の考察」(富山国際大学『人文社会学部紀要』第1巻、2001年3月)

「富山県有権者の政治意識 2001 県内調査から」(富山国際大学『人文社会学部紀要』第3巻、2003年)

著書 『金沢市議会史』(共著)(金沢市議会、2001年)

その他 富山地域合併にかかる新市の名称等検討委員会アドバイザー

### 大谷孝行

論文 「不完全恐怖症の人間学的考察」(『富山国際大学紀要』第10巻、2000年3月)

「森田正馬とアンリ・ベルクソン」(富山国際大学『人文社会学部紀要』第1巻、2001年3月)

「森田療法における自然観」(富山国際大学『人文社会学部紀要』第2巻、2002年3月)

「西田幾多郎の『行為的直観』——森田療法的アプローチからの分析」(富山国際大学『人文社会学部紀要』3巻、2003年3月)

「2004夏 この社会の病理<上>」(『北日本新聞』2004年8月11日)

## 大西一成

論文 「2000年度の日本経済見通し」(『東洋証券(株)投資レーダー』No.8、2000年1月)

「自律回復への兆し」(『東洋証券(株)投資レーダー』No.9、2000年1月)

「米国経済の課題」(『東洋証券(株)投資レーダー』No.10、2000年2月)

「下げ止まる民間設備投資」(『東洋証券(株)投資レーダー』No.11、2000年2月)

「急騰する国際商品市況」(『東洋証券(株)投資レーダー』No.12、2000年3月)

「今後の日本経済 - 財政危機をのり超えて」(『富山国際大学10周年記念エコノミスト・ジャーナリスト講演記録』2001年3月)

「雇用が消費に影響、行政はビジョンを」(『朝日新聞』2002年3月18日)

## 大藪敏宏

論文 「ヘーゲルの社会哲学における偶然性の問題」(『富山国際大学紀要』第10巻、2000年3月)

「表象の偶然性と社会科学の論理 - ヘーゲル法哲学における法と道徳との衝突と二正面作戦」(富山国際大学『人文社会学部紀要』第1巻、2001年3月)

「実定法の偶然性と法哲学 - ヘーゲルの実証法学論とハーバースの法制化論」(富山国際大学『人文社会学部紀要』第2巻、2002年3月)

「因果的決定論の科学史と近代心理学の成立 - P.ジャネのハーバード講演と精神分析理論の形成」(富山国際大学『人文社会学部紀要』第3巻、2003年3月)

「市民革命の理念と個体的自由の病理 - テロ・スパイラルと法の哲学」(『法政哲学学会報』第21号、2003年6月)

「法における自由の実現と人倫的世界の無神論 - ヘーゲル法哲学における自由意志能力説批判」(富山国際大学『人文社会学部紀要』第4巻、2004年3月)

学会発表 「市民革命の理念と個体的自由の病理 - ヘーゲル法哲学の問題構成 -」(法政哲学学会 法政大学 2002年6月29日)

## 岡倉徹志

論文 「富山“コーラン”引き裂き事件の波紋」(『世界』、2001年8月号)

「ピンラディン伝 - ブレイボーイがカリスマになるまで」(『文藝春秋』2001年10月緊急増刊号)

「キリスト教世界に反省促す一冊」(ロバート・ヴァン・ド・ヴァイア『イスラムはなぜアメリカを憎むのか』の解説、光文社)

「“原理主義のメッカ”と“絶対王制”の板挟みでサウジは噴火寸前」(『サピオ』2001年12月19日号)

著書 『サウジアラビア現代史』(文春新書)(単著 文藝春秋社、2000年)

『改訂版イスラム世界のこれが常識』(単著 PHP 研究所、2001年)

『イスラム原理主義』(単著 明石書店、2001年)

『イスラム世界がよくわかる本』(単著 PHP 文庫、2003年)

**彼谷 環**

- 論文 「ドイツにおける『女性のための割当制』(『富山国際大学紀要』第10巻、2000年3月)  
「男女共同参画社会基本法制に関する憲法論的研究」(2001年度富山第一銀行奨学財団報告書)  
「武生市男女共同参画推進条例と男女平等オンブッド」(富山国際大学『人文社会学部紀要』第3巻、2003年3月)  
「イラク対応に疑問」(『北日本新聞』2003年5月3日付)  
「自衛隊イラク派遣をめぐるメディアの報道 いまだ見えない派遣の意味と、すすむ報道規制」(季刊『女も男も』99号、2004年)  
「緊張感持ち検証を 改憲論議のポイント提言」(『北日本新聞』2004年5月3日付)  
「『赤松良子さん講演会』を終えて」(『シャキット情報』53)
- 著書 『いま日本の法は 君たちはどう学ぶか〔第3版〕』(項目執筆 日本評論社、2001年)  
『市民的公共圏形成の可能性 比較憲法的総合的研究』(分担執筆 日本評論社、2003年)
- その他 2002年度インターネット市民塾「アメリカの対テロ戦争を考える」(全6回)

**Rickford Grant**

- 論文 Through the Eyes of Saints: Robertson Davies' "Fifth Business." The Journal of Toyama University of International Studies (2000).  
A Slightly Heretic Approach to Teaching Fiction in the EFL Setting. Guidelines (2000).  
Logic as a Content Course in the EFL Curriculum. The Journal of the Faculty of Humanities and Social Sciences, Toyama University of International Studies (2001).  
Michael Ondaatje's The English Patient: Humanity and Savagery at the Crossroads. The Journal of the Faculty of Humanities and Social Sciences, Toyama University of International Studies (2002).  
A Long Time in Coming... Especially to Japan. Nyckel Notes (2003).

**後藤 智**

- 著書 『現代自治体再編論 - 市町村合併を超えて - 』(共著 日本評論社、2002年11月)  
『新現代行政法入門(2) - 行政組織・主要な行政領域 - 』(共著 法律文化社、2004年5月)  
『資料 現代行政法〔第2版〕』(共著 法律文化社、2004年7月)
- 論文 「行政の公共性と費用負担の論理 - ごみ処理手数料をめぐる法律問題 - 」(神長勲・紙野健二・市橋克哉編『室井力先生古稀記念論文集 公共性の法構造』勁草書房、2004年9月)  
「村上順著『日本の地方分権』(日本地方自治学会編『地方自治叢書17 分権型社会の政治と自治』敬文堂、2004年11月)
- その他 入善町行財政改革町民懇談会顧問(2004年7月～)

**佐藤悦夫**

- 論文 「古代マヤ文明における都市の生態学的研究: GIS を利用した遺跡の分析」(『1999年度富山第一銀行奨学財団助成金報告書』、2000年3月)  
「2000-2001年科学研究費研究成果報告書: 4章、遺物分析」(『2000-2001年科学研究費研究成果

報告書、研究課題、メソアメリカにおける古代都市国家の起源：テオティワカン、月のピラミッドに表されるイデオロギーと政治形態』研究代表者 杉山三郎愛知県立大学教授、2002年3月)

「テオティワカンの土器についての一考察(1): パトラチケ期からミカオトリ期までの土器」(富山国際大学『人文社会学部紀要』第2巻、2002年3月)

López, Sandra L., Etsuo Sato, Malgorzata Daszkiewicz, Ewa Bobryk, and Gerwulf Schneider  
“Análisis Preliminar de la Cerámica de la Pirámide de la Luna en Teotihuacan 2000-2001”  
(Informe que presentan al Instituto Nacional de Antropología e Historia México 2002年6月)

「テオティワカンの土器についての一考察(2): トラミミロルパ期からメテベック期までの土器」  
(単著 富山国際大学『人文社会学部紀要』4巻 2004年3月)

「月のピラミッド出土の土器について」(単著 『古代アメリカ』 古代アメリカ学会 Vol.7 2004年6月)

著書 『マヤ学を学ぶ人のために』(共著 世界思想社 2004年11月)

学会発表 Sato, Etsuo and Sandra L. López “Approaching Teotihuacan Pottery from the Pyramid on Moon through Archeometry” (The 66th Society for American Archaeology Meeting in New Orleans, USA, April 2001)

López, Sandra L. and Etsuo Sato “Análisis Cerámico del Proyecto Pirámide La Luna” (XXVI Mesa Redonda de Sociedad Mexicana de Antropología en Zacatecas, México, Agosto 2001)

「月のピラミッド出土の土器について」(古代アメリカ学会第8回大会発表、早稲田大学、2003年11月)

Sato, Etsuo “Preliminary Report of the Ceramics from the Pyramid of the Moon, Teotihuacan”  
(The 69th Society for American Archaeology Meeting in Toronto, Canada, April 2004)

## Richard Stone

論文 Distinctives of Business/Technical Writing. Toyama University of International Studies  
Memoirs (Kiyu). March, 2000.

Evaluating and Modifying Language Assessment Scales. Toyama University of International  
Studies Memoirs (Kiyu). March, 2001.

Perspectives of Administrators and Consultants at Institutions in the US on Recruiting  
College Students in an Increasingly Competitive Market. Journal of the Faculty of  
Humanities and Social Science of Toyama University of International Studies. March, 2002.

Poems from Japan. Journal of the Faculty of Humanities and Social Science of Toyama  
University of International Studies, March, 2003.

## 大門信吾

論文 「男子体操競技における加点に関する採点規則の改正点と最近の演技動向 ゆか、つり輪、平行棒  
について」(『北陸体育学会紀要』第36号、2000年3月)

「男子体操競技における加点に関する採点規則の改正点と最近の演技動向 あん馬、鉄棒について

- )( 富山国際大学『人文社会学部紀要』第1号、2001年3月)

### 高成玲子

- 論文 「ブラウネル『日本の心』(六)」(『富山女子短期大学紀要』第35号、2000年3月)  
 「富山のお雇い外国人 3」(『富山女子短期大学紀要』第35号、2000年3月)  
 「ラフカディオ・ハーンと日本美術」(『ロータス』第21号、2001年3月)  
 「富山のお雇い外国人とヘルン文庫」(『近代史研究』第24号、2001年3月)  
 「レフカダ紀行」(『へるん』第38号、2001年6月)  
 「南日恒太郎小伝序論」(『東日本英学史研究』創刊号、2002年3月)  
 「ヘルン文庫随想」(『とやま文学』第21号、2003年3月)  
 「ラフカディオ・ハーンと日本美術 2」(『ロータス』第23号、2003年3月)  
 「ヘルン文庫書き込み調査準備調査報告」(『へるん倶楽部』創刊号、2003年6月)  
 小泉八雲没後100年記念展「モラエスとハーン」(徳島県立文学書道館：4月17日～5月30日)  
 図録分担執筆  
 小泉八雲没後100年記念展「ラフカディオ・ハーンー神々の国を覗いた眼差し」(姫路文学館：8月11日～9月26日、新宿歴史博物館10月9日～11月14日--巡回展)図録分担執筆  
 「ロンドンのブラウネル」(『東日本学史研究』第3号 東日本英学史研究会紀要、2004年3月)  
 「ブラウネル コネクション」(『近代史研究』第27号 近代史研究会紀要、2004年3月)  
 「ヘルン文庫目録序文翻訳」(『へるん倶楽部』第2号 富山八雲会機関誌、2004年3月)  
 学会発表「ロンドンのブラウネル」(第39回日本英学史学会全国大会、2002年10月)

### 滝沢荘一

- 論文 「20大ニュースから占う21世紀の世界」(『聖教新聞』2000年2月8日)  
 「ブッシュ新政権発足と米中関係」(『聖教新聞』2001年2月6日)  
 「米一極支配の終わりの始まり」(『北日本新聞』2003年3月21日)  
 「バンドラの箱開けたイラク戦争」(『北日本新聞』2003年5月22日)  
 「同時テロから2年に思う」(『北日本新聞』2003年9月11日)  
 「3邦人誘拐事件とイラクの自衛隊」(『北日本新聞』2004年月10日)  
 「イラク人虐待写真の衝撃」(『北日本新聞』2004年5月24日)  
 著書 『名優・滝沢修と激動昭和』(単著 新風舎文庫、2004年10月)

### 湯 麗敏

- 論文 「日本文化に対する周作人の受け止め方について」(『富山国際大学紀要』第10巻、2000年3月)  
 「周作人と中国新文学」(富山国際大学『人文社会学部紀要』第1巻、2001年3月)  
 著書 『二一八才楽しい中国語会話』(共著 白帝社、2003年)

### 鶴山博之

- 論文 「大学生の運動生活に関する研究」(『富山国際大学紀要』第10巻、2000年3月)  
 「競技意欲と満足度から見た陸上競技部のリーダーシップに関する研究」(『北陸体育学会紀要』第36号、2000年3月)  
 「組織変数から見た運動部の組織特性とマネジメントに関する研究」(共著『北陸体育学会紀要』第

国際教養学部紀要 VOL.1(2005.3)

37号、2001年3月)

「競技的スポーツ集団におけるリーダーシップの固有性・個別性に関する研究」(共著『体育・スポーツ経営学研究』第16巻、2001年3月)

著書 『スポーツ経営学』(共著 大修館書店、2000年)

学会発表「運動部の組織特性と組織変数に関する研究」(日本体育学会 奈良女子大学 2000年10月7日)

「チームスポーツ系運動部の組織マネジメント」(日本体育学会 信州大学 2004年9月24日)

その他 富山県スポーツ医・科学的トレーニング専門委員会委員 (1995~2004年3月)

富山県スポーツ指導者養成・活用システム推進会議委員 (2003~現在)

長 弘毅

論文 「インド民話の世界 《語り場》を訪ねて」上・下(カワイ音楽教育研究会『あんさんぶる』5・6月号、1999年5月、6月)

「天竺、印度そしてインド」(富山社交倶楽部『社交』No.183、2002年)

「非暴力と文明」(翻訳 ジャイネンドラ・クマール (社)日印サルボダヤ交友会『サルボダヤ』Vol 43 - 12、2003年)

著書 『東アジアの神話』(共著 ポプラ社、2000年)

『まいごヤギとライオン』(単著 鈴木書店、2000年)

『現代ヒンディー短選集』第1巻(単著 大同生命国際文化基金、2000年)

『語り継ぐ人びと\*インドの民話』(単著 福音館書店、2003年)

永井広克

論文 「売薬の消費調査」(『富山女子短期大学紀要』第35輯、2000年3月)

「保育士の仕事と家庭」(富山国際大学『人文社会学部紀要』第2巻、2002年3月)

「保育士の思い」(富山国際大学『人文社会学部紀要』第3巻、2003年3月)

「若者の職業意識」(富山国際大学『人文社会学部紀要』第4巻、2004年3月)

著書 『男女共生の社会学』(分担執筆 学文社、2003年)

その他 男女共同参画に関する中学校副読本 編集委員

富山県男女共同参画・ボランティア課 2004年

西田達昭

論文 「マルチメディア時代の情報通信産業」(『富山国際大学紀要』第10巻、2000年3月)

「転換期の日本経済 プラザ合意・バブル経済・グローバリゼーション」(富山国際大学『人文社会学部紀要』第1巻、2001年3月)

「『拡大されたユニバーサル・サービス』を考える」(富山国際大学『人文社会学部紀要』第2巻、2002年3月)

「郵政事業の民営化を考える」(富山国際大学『人文社会学部紀要』第3巻、2003年3月)

「現代企業論の諸課題」(富山国際大学『人文社会学部紀要』第4巻、2004年3月)

伴 浩美

論文 「初期・現代のアメリカ大統領就任演説の計量的解析と社会情勢との関係」(共著筆頭『電子情報通信学会技術研究報告』Vol.99, No.581、2000年1月)

- 「大統領スピーチから見た政治家の言語的遷移」(『富山国際大学紀要』第10巻、2000年3月)
- “Metrical Characteristics of English Textbooks in Japan, Korea, the United Kingdom and the United States”(共著 *Proceedings of the 4th International Conference on Engineering Design and Automation*, Jul. 30-Aug. 2, 2000, Orlando, USA)
- “Estimation of U.S. Presidential Election Using Linguistical Analysis of Inaugural Addresses”(共著筆頭 *Proceedings of the 3rd Czech-Japan Seminar on Data Analysis and Decision Making under Uncertainty*, Oct. 30-31, 2000, Osaka, Japan)
- 「英文コラムの計量的特徴と他ジャンルとの比較」(共著筆頭 『電子情報通信学会技術研究報告』 Vol.100, No.420、2000年11月)
- “Linguistical Analysis of American Presidents' Inaugural Addresses”(共著筆頭 *Proceedings of the Third Asia-Pacific Conference on Industrial Engineering and Management Systems*, Dec. 20-22, 2000, Hong Kong, China)
- 「Regional Difference of Word Variation in English Textbooks between English-Speaking Countries (U.S.A. & U.K.) and Non-English Speaking Countries (Korea & Japan)」(共著 『金沢経済大学経済研究所年報』第21号、2001年3月)
- 「シンガポール英字新聞の計量言語的変遷」(『富山国際大学人文社会学部紀要』第1巻、2001年3月)
- “Metrical Comparison of English Columns with Other Genres”(共著筆頭 *Proceedings of the 5th International Conference on Engineering Design and Automation*, Aug. 5-8, 2001, Las Vegas, USA)
- 「シンガポール英字新聞における計量言語的要因の変遷」(共著筆頭 『日本感性工学会誌感性工学研究論文集』第1巻2号、2001年8月)
- 「シンガポール英字新聞と他ジャーナリズムとの解析比較」(共著筆頭 『電子情報通信学会技術研究報告』 Vol.101, No.506、2001年12月)
- 「東アジアと米英の英語教科書の計量的解析比較」(『富山国際大学人文社会学部紀要』第2巻、2002年3月)
- “Metrical Comparison of Singapore English Newspapers and Other English Journalism”(共著筆頭 *Proceedings of the 6th International Conference on Engineering Design and Automation*, Aug. 4-7, 2002, Maui, USA)
- 「英語コミュニケーション能力評価テストの計量的解析」(共著筆頭 『電子情報通信学会技術研究報告』 Vol.102, No.412、2002年10月)
- “Linguistical Characteristics of Eliyahu M. Goldratt's "The Goal"”(共著筆頭 *Proceedings of the Fourth Asia-Pacific Conference on Industrial Engineering and Management Systems*, Dec. 18-20, 2002, Taipei, Taiwan)
- 「新教科「情報」の特徴分析」(富山国際大学『人文社会学部紀要』第3巻、2003年3月)
- “Metrical Comparison of English Textbooks in East Asian Countries, the U.S.A. and U.K.”(共著筆頭 *Proceedings of the 4th International Symposium on Advanced Intelligent Systems*, Sep. 25-28, 2003, Jeju, Korea)

学会発表 「初期・現在の米国大統領スピーチに見られる特徴」(日本ファジィ学会北信越支部研究会 2000年2月)

「米英と日韓の英語教科書の単語種における地域差」(日本OR学会「システムの最適化とOR」研究

部会第 15 回研究集会 2000 年 3 月)

- 「日米英韓英字新聞の助動詞頻度による特徴抽出」(平成 12 年電気学会全国大会 2000 年 3 月)
- 「アメリカ大統領候補のスピーチの計量的比較」(第 9 回日本ファジィ学会北信越支部シンポジウム 2000 年 8 月)
- 「大統領候補者スピーチの文体解析結果による大統領戦予測」(第 2 回日本感性工学会大会 2000 年 9 月)
- 「計量分析による英文コラムの特徴」(平成 12 年度電気関係学会北陸支部連合大会 2000 年 9 月)
- 「シンガポール英字新聞における主な計量言語的変遷要因の抽出」(日本感性工学会第 6 回「あいまいと感性研究部会」研究発表会 2001 年 3 月)
- 「シンガポール英語の計量言語学的特徴の抽出」(平成 13 年電気学会全国大会 2001 年 3 月)
- 「日本・中国・韓国の英語教科書の計量的解析とアジア圏英語の特徴」(第 17 回ファジィシステムシンポジウム 2001 年 9 月)
- 「極東アジア 4 ヶ国における英語教科書の分析」(第 3 回日本感性工学会大会 2001 年 9 月)
- 「シンガポール英字新聞における人称代名詞と助動詞の計量的分析」(日本ファジィ学会北信越支部研究会 2001 年 12 月)
- 「シンガポール英語コミックにおける会話言語の計量的特徴」(平成 14 年電気学会全国大会 2002 年 3 月)
- 「制約条件の理論(TOC) "The Goal" における言語学的特徴」(平成 14 年度日本設備管理学会春季研究発表大会 2002 年 6 月)
- 「負荷軽減を目的とした福祉入浴システムの開発」(平成 14 年度日本設備管理学会春季研究発表大会 2002 年 6 月)
- 「経営学分野英文資料の言語学的特徴抽出」(第 18 回ファジィシステムシンポジウム 2002 年 8 月)
- 「日本における英語コミュニケーション能力評価テストの計量的特徴」(第 4 回日本感性工学会大会 2002 年 9 月)
- 「中学校における HTML 授業の試み」(日本教育工学会第 18 回大会 2002 年 11 月)
- 「TV News の計量的解析」(日本ファジィ学会関東支部・北信越支部第 19 回ファジィ・ワークショップ 2002 年 11 月)
- 「経営学専門書の計量的解析と教育への応用」(平成 14 年度日本設備管理学会秋季研究発表大会 2002 年 12 月)
- 「既存の浴槽を利用した介護用入浴システム」(平成 14 年度日本設備管理学会秋季研究発表大会 2002 年 12 月)
- 「テクニカル・コミュニケーション能力評価テストの計量的解析」(平成 15 年電気学会全国大会 2003 年 3 月)
- 「プロジェクトマネジメント分野英文資料の計量的解析とその特徴」(平成 15 年度日本設備管理学会 春季研究発表大会 2003 年 6 月)
- 「経営分野英文資料の計量言語学的特徴」(第 19 回ファジィシステムシンポジウム 2003 年 9 月)
- 「代表的なアメリカ文学作品の計量言語学的文体解析」(第 5 回日本感性工学会大会 2003 年 10 月)
- 「経営学英文資料の計量言語学的分析」(2003 年情報論的学習理論ワークショップ 2003 年 11 月)
- 「経営学英文専門書の計量的解析」(平成 15 年度日本設備管理学会秋季研究発表大会 2003 年 11 月)



- 「技術英語コミュニケーション能力試験の計量言語学的解析」(平成 16 年電気学会全国大会 2004 年 3 月)
- 「英語ジャーナリズムのメディアによる文体的特徴」(2004 年電子情報通信学会総合大会 2004 年 3 月)
- 「経営学英文専門書の計量言語学的特徴」(平成 16 年度日本設備管理学会春季研究発表大会 2004 年 6 月)
- 「色彩語の連想イメージの分析」(第 6 回日本感性工学会大会 2004 年 9 月)
- 「インタビューの英語の計量言語学的解析」(第 6 回日本感性工学会大会 2004 年 9 月)
- 「富山県平村における方言意識調査」(第 6 回日本感性工学会大会 2004 年 9 月)
- 「GMAT と TOEIC の計量言語学的比較」(平成 16 年度日本設備管理学会秋季研究発表大会 2004 年 11 月)
- 「アメリカ映画の計量言語学的解析」(2004 「エンタテインメント感性」ワークショップ 2004 年 12 月)

#### 樋口康彦

- 学会発表 「達成行動を阻害する要因に関する考察(1) 中学生を被験者として」(日本応用心理学会 流通科学大学 2003 年 9 月 5 日)

#### 福島清紀

- 論文 「スピノザの『自由』概念」(『富山国際大学紀要』第 10 巻、2000 年 3 月)
- 「スピノザの『自然権』」(『富山国際大学人文社会学部紀要』第 1 巻、2001 年 3 月)
- 「『人間知性新論』再考への一視点 コスト訳の介在」(工作舎刊『ライブニッツ著作集第 5 巻(第二刷)』所収、2001 年 6 月)
- 「ライブニッツ『人間知性新論』再考」(富山国際大学『人文社会学部紀要』第 2 巻、2002 年 3 月)
- 「スピノザ『神学政治論』の歴史的背景」(富山国際大学『人文社会学部紀要』第 3 巻、2003 年 3 月)
- 「ライブニッツとロック 仏語版『人間知性論』による思想伝達をめぐって」(法政大学言語・文化センター『言語と文化』、2004 年 2 月)
- 著書 『ライブニッツ著作集第 5 巻(第二刷)』(共訳 工作舎、2001 年 6 月)

#### 福島美枝子

- 論文 Fukushima, M. (March 2000). Approaches to Supervisory Work: A Review of the Literature. *Journal of Toyama University of International Studies* Vol. 10, pp. 173-181.
- Fukushima, M. (March 2001). Supervisory Work with In-Service Teachers: Case Studies on Some Aspects of Teacher-Outsider Communication. *The TUINS Journal of the Faculty of Humanities and Social Science* Vol. 1, pp. 175-193.
- Fukushima, M. (March 2003). Primary English Teaching: A New Development in Japan. *The TUINS Journal of the Faculty of Humanities and Social Science* Vol. 3, pp. 133-140.
- Fukushima, M. (March 2004). Research Notes on Primary Foreign Language Teaching: Age, Time and Aims. *The TUINS Journal of the Faculty of International Studies* Vol. 1, pp. 105-116.

- 学会発表 「ビデオによる授業研究(高等学校)」(共同研究発表)第34回中部英語教育学会(2004・6・27)
- その他 第17回富山英語指導法勉強会(2002・4・20)Workshop: “Conducting project work in language class”
- 第34回中部英語教育学会準備会授業研究グループ(学外共同研究:2003年11月~2004年5月)  
「ビデオによる授業研究(中学校)」および「ビデオによる授業研究(高等学校)」  
(上記2部門に参加、高等学校の部においてコーディネータと学会発表)
- 第32回富山県私学教育研修会・英語部会(2004・8・24) “Teaching Listening” (講演)  
富山国際大学付属高等学校 Super English Language High School (2004・4~) 運営指導委員会委員

## 藤野 豊

- 論文 「1938年 富山県の廃娼」(『富山国際大学紀要』第10巻、2000年3月)
- 「横浜市における建国体操の展開」(『市史研究よこはま』第12号、2000年3月)
- 「『三国人』はどう使われてきたか」(『部落解放』第471号、2000年7月)
- 「国民精神総動員運動と結婚改善運動」(富山国際大学『人文社会学部紀要』第1巻、2001年3月)
- 「『ケガレ=差別の本質』論の問題性」(『部落解放』第484号、2001年4月)
- 「判決を読んで」(『熊本日日新聞』2001年5月12日)
- 「ハンセン病訴訟判決に寄せて」(『南日本新聞』2001年5月12日)
- 「ハンセン病国家賠償訴訟の判決を読んで」(『東京新聞』2001年5月15日夕刊)
- 「ハンセン病訴訟控訴断念に寄せて」(『南日本新聞』2001年5月24日)
- 「問われる国策としての隔離」(『世界』第691号、2001年8月)
- 「廃娼と存娼 その相克と協調」(『大正デモクラシー・天皇制・キリスト教』、新教出版社、2001年)
- 「日本ファシズムと医療」(『15年戦争と日本の医学医療研究会誌』第2巻第1号、2001年10月)
- 「ハンセン病患者への人権侵害の歴史」(『自由と正義』第52巻第10号、2001年10月)
- 「ハンセン病訴訟和解合意 名誉回復、大きな課題」(『南日本新聞』2001年12月28日)
- 「ハンセン病と近現代日本」(『ハンセン病 排除・差別・隔離の歴史』、岩波書店、2001年)
- 「『法の執行』が生んだ『恐怖宣伝』 ハンセン病患者の近現代」(『部落解放』第495号、2002年1月)
- 「『無医村』問題の登場」(富山国際大学『人文社会学部紀要』第2巻、2002年3月)
- 「近現代日本のハンセン病政策」(真宗大谷派同和推進本部『身同』第22号、2002年6月)
- 「アイヌ民族への医療・衛生調査の差別性 現代に生きる社会ダーウィニズム」(『飛磔』第35号、2002年7月)
- 「ハンセン病患者」(『日本における差別と人権』、解放出版社、2002年)
- 「水平社未組織県における部落解放運動史 - 神奈川県・富山県の場合」(『近代日本と水平社』、解放出版社、2002年)
- 「ハンセン病 人権侵害との闘い」(『ブリタニカ国際年鑑』2002年版、ブリタニカ・ジャパン、2002年)
- 「近現代のハンセン病政策」(『身同』第22号、2002年)

- 「動きだしたハンセン病検証会議」(『新潟日報』2002年11月22日)
- 「奄美のハンセン病問題」(『飛磔』第37号、2003年1月)
- 「『滅び行くアイヌ』像の復活」(『飛磔』第38号、2003年4月)
- 「ハンセン病 進まぬ検証」(『読売新聞』2003年6月6日)
- 「水平社創立の精神と浄土真宗」(真宗大谷派同和推進本部『身同』第23号、2003年6月)
- 「沖縄の買売春」(『飛磔』第39号、2003年7月)
- 「ハンセン病隔離の歴史」(『聖教新聞』2003年9月4日)
- 「ハンセン病隔離強化の真相とは何か」(『世界』第718号、2003年9月)
- 「『村起こし』としての買売春 富山県利賀村の『トルコ風呂』計画」(『飛磔』第40号、2003年10月)
- 「神奈川の水平社運動」(『飛磔』第41号、2004年1月)
- 「ハンセン病と浄土真宗」(本願寺同朋センター『同和教育論究』第25号、2004年3月)
- 「熊本・本妙寺からの出発」(『飛磔』第42号、2004年4月)
- 「『特殊部落調附癩村調』の意味するもの」(『部落解放』第535号、2004年6月)
- 「ハンセン病問題と部落問題の接点」(『熊本日日新聞』2004年7月10日)
- 「歴史学における地域 茨城から群馬まで」(『飛磔』第43号、2004年7月)
- 「三重県渡鹿野島の管理売春」(『売買春問題ととりくむ会ニュース』第169号、2004年9月)
- 「東京・奈良・熊本・鳥取を結ぶシンポジウムから」(『飛磔』44号、2004年10月)
- 「沖縄におけるハンセン病問題の歴史と課題」(真宗大谷派解放運動推進本部『身同』第24・25合併号、2004年12月)
- 著書 『強制された健康 日本ファシズム下の生命と身体』(単著 吉川弘文館、2000年)
- 『知っていますか? ハンセン病と人権』第2版(共著 解放出版社、2000年)
- 『「いのち」の近代史 「民族浄化」の名のもとに迫害されたハンセン病患者』(単著 かもがわ出版、2001年)
- 『被差別部落ゼロ? 近代富山の部落問題』(単著 桂書房、2001年)
- 『性の国家管理 買売春の近現代史』(単著 不二出版、2001年)
- 『近現代日本ハンセン病問題資料集成 戦前編』第1巻～第8巻(編著 不二出版、2002年)
- 『「水平社伝説」からの解放』(共著 かもがわ出版、2002年)
- 『長島重三郎日記 大正11年～大正12年』(共編著、横浜市市民局人権部人権課、2003年)
- 『厚生省の誕生 医療はファシズムをいかに推進したかー』(単著 かもがわ出版、2003年)
- 『近現代日本ハンセン病問題資料集成 戦後編』第1巻～第10巻(編著 不二出版、2003年)
- 『ハンセン病をどう教えるか』(共著 解放出版社、2003年)
- 『近現代日本ハンセン病問題資料集成 補巻』第1巻～第5巻(編著 不二出版、2004年)
- 学会発表 「日本ファシズムと医療」(15年戦争と日本の医学医療研究会第5回研究会 名古屋大学医学部 2001年6月16日)
- 「差別と隔離の百年を問う」(共同発表 第35回部落解放・人権夏期講座 高野山大学 2004年8月20日)
- 「三重県渡鹿野島における管理売春」(買春・ポルノ問題研究会創立5周年記念大会 文京区民センター 2004年11月28日)
- その他 2001年 『「いのち」の近代史』に対して、日本ジャーナリスト会議よりJCJ特別賞受賞
- 2001年～ 大山町男女共同参画推進員連絡会会長(富山県大山町設置)

- 2001年～ おおやま男女平等推進審議会会長（富山県大山町設置）  
2002年～ ハンセン病問題に関する検証会議委員（厚生労働省設置 日弁連法務研究財団委託）  
2002年～ ハンセン病問題に関する検討会委員（厚生労働省設置 日弁連法務研究財団委託）  
2004年～ 「神奈川の部落史」編集委員会代表（神奈川県助成事業）

**James W. Porcaro**

- 論文 Using advice letters for family counseling role-plays. *Modern English Teacher*, 9 (1), 2000.  
Poetry and literacy skills in the EFL class. *Journal of Toyama University of International Studies*, 10, 2000.  
Using magazine articles on science for EST instruction. *TESOL Matters*, 10 (2), 2000.  
Reliability and validity in a TUINS English entrance examination. *Journal of the Faculty of Humanities and Social Sciences, Toyama University of International Studies*, 1, 2001.  
Integrating authentic materials and language skills in EST instruction. *English Teaching Forum*, 39 (2), 2001.  
Newspaper cartoons: Creating informed citizens and integrating language skills. *Modern English Teacher*, 10 (2), 2001.  
Role-play scriptwriting and integration of language skills. *The Language Teacher*, 25 (5), 2001.  
Real data to stimulate communication. *Guidelines*, 23 (1), 2001.  
Inventing Japanese students. *The Language Teacher*, 25 (9), 2001.  
A rationale for L1-to-L2 literary translation in college EFL instruction. *JALT Journal*, 23 (2), 2001.  
The role of film in L1-to-L2 literary translation by EFL students. *Journal of the Faculty of Humanities and Social Sciences, Toyama University of International Studies*, 2, 2002.  
Taking risks: Cloze reading exercises and the process of scientific discourse. *Toyama University Bulletin of Computer and Networking Services*, 6 (1), 2002.  
Language exchange activities by e-mail with key partners within a class. *Modern English Teacher*, 11 (2), 2002.  
Summertime things Japanese. *The Language Teacher*, 26 (7), 2002.  
Interactive icebreaker activities with follow-up functions. *TESOL Journal*, 11 (2), 2002.  
Stocking-fillers for teachers: Some December lessons. *The Language Teacher*, 26 (11), 2002.  
“Free Pass” universities: A new opportunity for achievement? *On Cue*, 10 (1), 2002.  
Translating literature and learning culture. *Academic Exchange Quarterly*, 6 (4), 2002.  
Assessment in an intensive EFL program. *Journal of the Faculty of Humanities and Social Sciences, Toyama University of International Studies*, 3, 2003.  
Using Data on Japan from the Web. *Calling Japan*, 11 (1), 2003.  
“Housing” construction: Developing materials for oral communication. *Between the Keys*, 11 (2), 2003.  
Students’ storytelling: A listening comprehension lesson. *Guidelines*, 25 (1), 2003.  
Bingo! (for teaching young learners). *English teaching professional*, 29, 2003.  
Integrated holistic approach to poetry instruction. *Academic Exchange Quarterly*, 7 (3),

2003.

Promoting progressive change in the work of secondary school JTEs. *Journal of the Faculty of Humanities and Social Sciences, Toyama University of International Studies*, 4, 2004, 79-88.

Olympic Squares. *The English Teacher: An International Journal*, 7 (1), 2004, 97-99.

Exploring Africa: An introduction by CALL. *Modern English Teacher*, 13 (3), 2004, 56-60.

Non-conventional content in English language lessons: "Death" as an instructional unit application. *TESL Reporter*, 37 (1), 2004, 39-49.

Poetry Translation in EFL Instruction. *The JASEC Bulletin*, 13, 2004, 64-71.

学会発表 富山英語指導法勉強会、2002年4月20日, "A student-centered, interactive communication activity"

富山英語指導法勉強会、2003年9月13日, "Summertime things Japanese and integrated practice of language skills"

Language Institute of Japan International Summer Workshop for Teachers of English, 2003, August 7. "Summertime things Japanese and integrated practice of language skills",

Promoting Progressive Change in the Work of Secondary School JTEs" 中部地区英語教育学会: 2004年6月27日

その他 文部科学省英語教員研修講師、2003年4月

#### 水田聖一

論文 「アメリカにおける保育・教育機関と家庭との統合の動き - 乳幼児の保育・教育: 園舎の境界を越えて」(『湊川女子短期大学幼児教育研究室紀要』第4集、2000年6月)

「シュブランガーの道徳教育思想」(『湊川女子短期大学紀要』第34号、2000年12月)

「急かされる子どもたち - ストレスとなる家庭、学校、社会」(『湊川女子短期大学紀要』第34号、2000年12月)

「近代日本における教育制度の形成と道徳教育」(富山国際大学『人文社会学部紀要』第2巻、2002年3月)

著書 『教師論・保育者論 - 子育て文化の継承と再発見』(編著 三晃書房、2000年)

学会発表 「急かされる子どもたち: ストレスとなる家庭、学校、社会」(湊川女子短期大学公開講座、2000年11月18日)

「高齢者と余暇生活」(滑川市福寿大学、2003年6月13日)

「教育的に見た子どもをめぐる社会状況」(「国際大学シンポジウム」富山県民会館、2004年7月10日)

「アメリカ道徳教育の新しい潮流」(「国際教養学部サテライト市民講座」CiCビル、2004年12月11日)

#### 望月健一

論文 「『エピサイキディオン』に見られる愛の哲学 (1)」(富山国際大学『人文社会学部紀要』第1巻、2001年3月)

「死への旅立ち - デイラン・トマスの誕生日の詩 - (1)」(日本現代英米詩学会『ジャパン・ポエトリ・レビュー』7号、2001年3月)

「『エピサイキディオン』に見られる愛の哲学 (2)」(富山国際大学『人文社会学部紀要』第2巻、

2002年3月)

「死への旅立ち - ディラン・トマスの誕生日の詩 - (2)」(日本現代英米詩学会『ジャパン・ポエトリー・レビュー』8号、2002年3月)

「ディラン・トマスの戦争詩 (1)」(富山国際大学『人文社会学部紀要』第3巻、2003年3月)

「ディラン・トマスの戦争詩 (2)」(『人文社会学部紀要』Vol. 4、2004年3月)

学会発表「カリブ海、イースト川、ベル・アイル - ハート・クレインの詩の世界」(日本現代英米詩学会大会 札幌大学 2003年6月28日)

「理想郷への旅 - シェリーの『エピサイキディオン』とクレインの『航海』 - 」(日本英文学会中部支部大会 信州大学 2004年10月16日)

## 横井敏秀

論文 「デュルケームの 遊び 観」(『富山国際大学紀要』第10巻、2000年3月)

「デュルケームにおける循環的変動観の形成」(『日仏社会学会年報』10号、2000年10月)

「デュルケームにおける革新期認識の一断面 - ルネサンス論を中心として - 」(富山国際大学『人文社会学部紀要』第1巻、2001年3月)

「デュルケームにおけるフランスの国民的アイデンティティの問題」(『日仏社会学会年報』第13号、2003年12月)

「デュルケームにおける『自由』の諸相」(『富山国際大学人文社会学部紀要』第4巻、2004年3月)